

1～4号機では燃料の安定冷却を継続しています。発電所の最新状況やさまざまな取り組みをお知らせします。

■ 本号の内容

2026年4月1日 発行

- 使用済燃料プール水温度について
- 公設消防との連携訓練をおこないました
- 発電所構内の空間線量
- 燃料の保管と冷却状況
- 発電所の状況を説明しました
- モルック大会を実施しました
- みなさまの声をお聞かせください
- 発電所データBOX



福島県指定文化財 天然記念物「塩貝の大カヤ」 撮影時期:2026年3月 撮影場所:楢葉町上繁岡



福島第二原子力発電所の
ホームページはこちらから
ご覧いただけます
<https://www.tepco.co.jp/2f-np/index-j.html>



バックナンバーは
こちらからご覧いただけます
[https://www.tepco.co.jp/2f-np/
visual/magazine/](https://www.tepco.co.jp/2f-np/visual/magazine/)

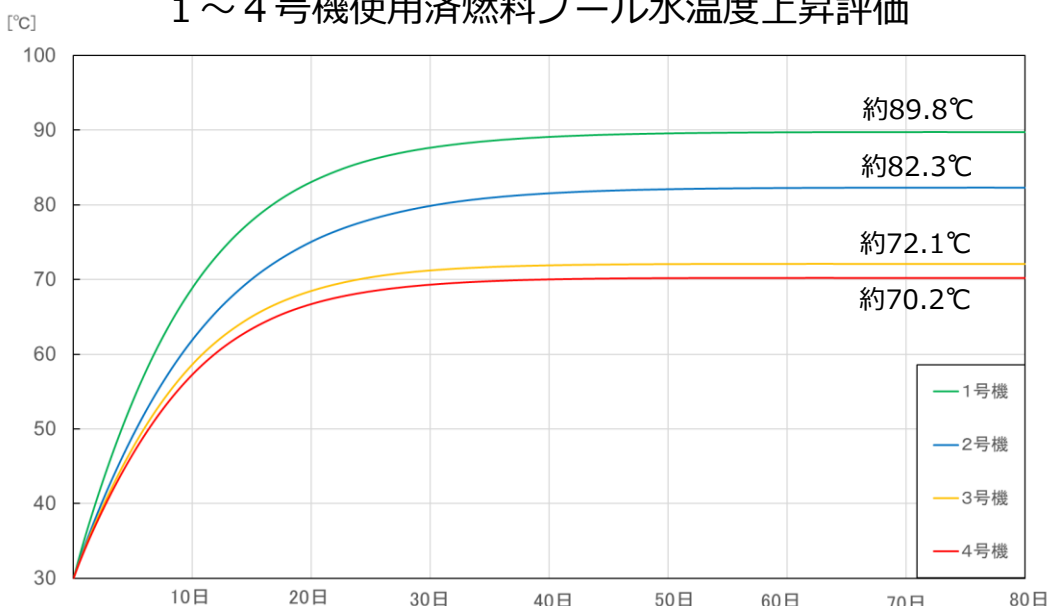
使用済燃料プール水温度について

3月2日、使用済燃料プール冷却停止時における温度上昇評価結果を公表しました。使用済燃料プールの水温は約30℃に保たれており、使用済燃料の発熱量についても、運転停止直後と比較して9割以上低下しています。このため、現在の発電所の状況に即した温度上昇評価に見直しをおこないました。

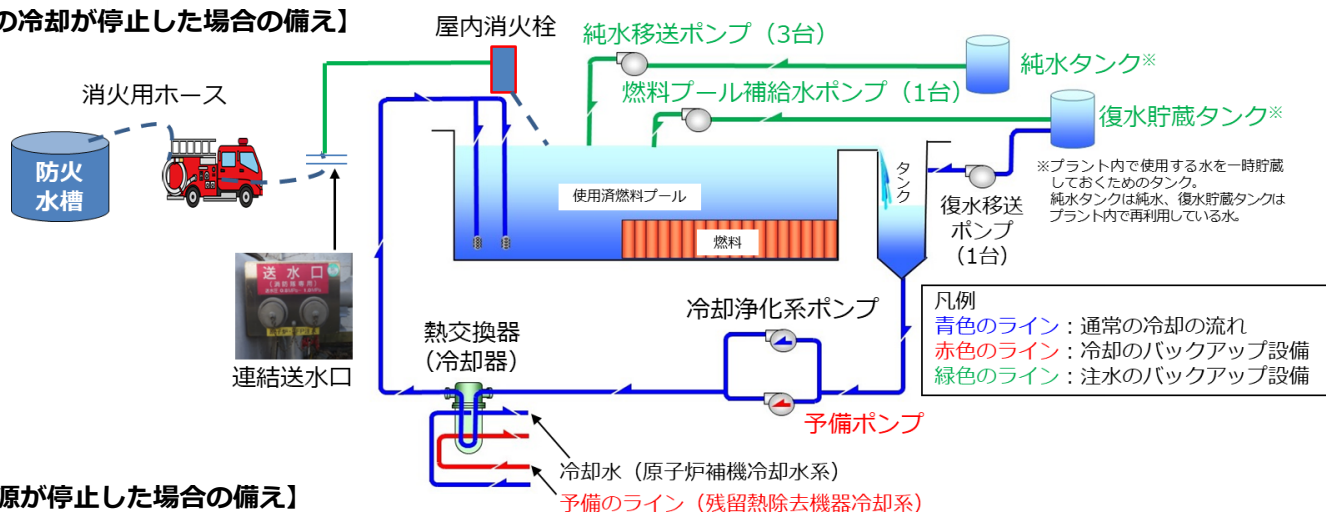
何らかの原因で使用済燃料プールの冷却が停止した場合でも、プールの水温は90℃を超えることはありません。なお、これは何も冷却手段を講じなかった場合の評価値であり、使用済燃料プールの冷却が停止した場合には、速やかに冷却出来るよう注水手段、代替冷却を備えています。

引き続き、使用済燃料の安定冷却に取り組んでまいります。

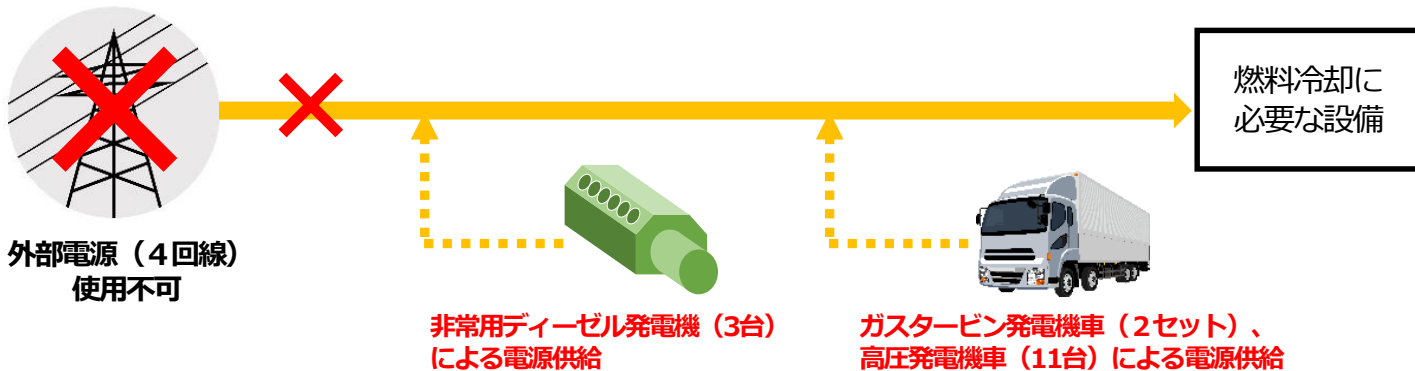
1～4号機使用済燃料プール水温度上昇評価



【プールの冷却が停止した場合の備え】



【外部電源が停止した場合の備え】



公設消防との連携訓練をおこないました

2月13日、2号機原子炉建屋（放射線管理区域）で火災が発生したことを想定して、消火訓練をおこないました。今回の訓練では、公設消防（富岡消防署）と当社自衛消防隊および委託消防隊（ネクセライズ）が連携し、現場の状況に応じた適切な消火活動がおこなえるか確認しました。福島第二原子力発電所では、引き続き、様々な訓練に取り組んでまいります。



当社自衛消防隊員へ状況を伝達する運転員



ホースを展開する委託消防隊



現場指揮本部における情報収集



委託消防隊

公設消防隊・当社自衛消防隊



各消防隊による消火活動

発電所構内の空間線量

（単位はマイクロシーベルト毎時）

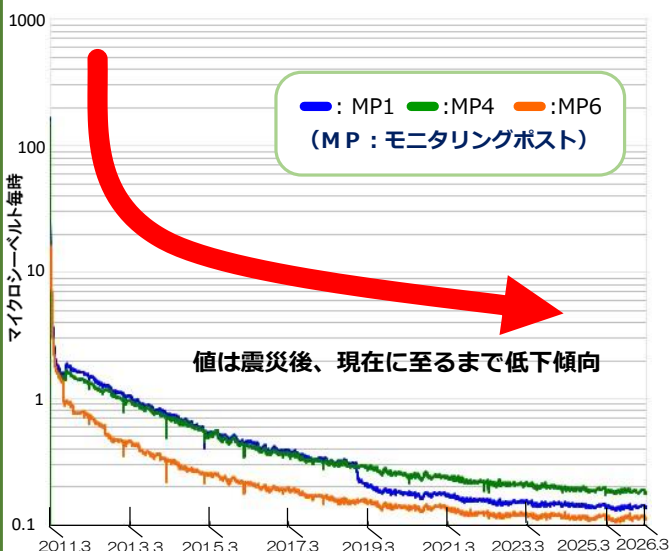
発電所構内のモニタリングポスト計測値（MP1～7）

2026年3月16日 時点

0.07 [MP7] ~ **0.20** [MP3]

値は震災後、現在に至るまで低下傾向

震災から現在まで（2011年3月16日～2026年3月16日）



参考データ（単位はマイクロシーベルト毎時）

発電所周辺町村の空間線量

富岡町（文化交流センター）	0.12	楢葉町（役場）	0.06
広野町（役場）	調整中	川内村（役場）	0.05

出典：福島県放射能測定マップ（市区町村別線量率一覧）より（2026年3月16日 時点）

世界の主要都市の空間線量

ロサンゼルス（アメリカ）	0.10	ソウル（韓国）	0.13
上海（中国）	0.59	ロッテルダム（オランダ）	0.33

出典：Safecast（福島県放射能測定マップ）より

燃料の保管と冷却状況

燃料はすべて原子炉から取り出し、1～4号機の使用済燃料プールで保管しています。プール水は約30℃で安定冷却し、常に監視しています。

2,534体

1号機

2,482体

2号機

2,544体

3号機

2,516体

4号機

発電所の状況を説明しました

3月14日、富岡町下郡山行政区の自治会総会にて、福島第二原子力発電所の廃止措置の取組状況の説明および発電所視察をご案内しました。

今後も当所では、さまざまな機会を通じて発電所の状況を分かりやすく発信してまいります。



モルック大会を実施しました

2月4日から3月3日の昼休みを活用し、モルック大会を実施しました。

パートナー企業と当社の混合チーム（78チーム）により、連日、白熱した戦いが繰り広げられました。

パートナー企業の方からは「普段接する機会のない社員とチームを組めて、新鮮で楽しかった」とのコメントもいただいております。

今後も、日々の業務に加え、このような交流の場を通じて関係性を深めてまいります。



みなさまの声をお聞かせください

「福島第二原子力発電所からのお知らせ」をご覧ください、ありがとうございます。

今後の広報紙づくりのため、ご意見・ご要望など、みなさまの声を是非お聞かせください。



こちらのメールアドレスにてお待ちしております

fuku2kouhou@tepcoco.jp (受信専用)

※いただいた内容は、広報紙づくりなどの参考にすることを目的としており、それ以外の目的での使用はいたしません。

発電所データBOX

福島第二原子力発電所で働く人は2,526人※です。(2026年2月1日現在)

※1日あたりの入構者数は約840人

	東京電力HD	パートナー企業	合計
県内	348人	1,913人	2,261人(約90%)
県外	58人	207人	265人(約10%)
合計	406人	2,120人	2,526人(100%)

編集後記

最近、少しずつ暖かさを感じられるようになってきました。この調子でいけば、この号が発行される頃には、桜の花が咲いているでしょうか。みなさま、ぜひ近くの桜の名所を訪れてみてはいかがでしょうか。



福島復興への責任を果たすため、燃料の安定冷却を継続し、安全第一で廃止措置を進めてまいります。

東京電力ホールディングス株式会社 公式アカウント



Facebook.com/OfficialTEPCO

公式エックス @OfficialTEPCO

編集発行責任者：

東京電力ホールディングス株式会社
福島第二原子力発電所 広報部 企画広報グループマネージャー
〒979-0695 福島県双葉郡楢葉町大字波倉字小浜作12
TEL 0240-25-1353 (受付時間(平日)午前9時～午後5時)
fuku2kouhou@tepcoco.jp (受信専用)